



栗 山



学 校 だ よ り

学校運営協議会だより
校訓：誠実・自律・調和

令和4年11月22日

第7号

八王子市立浅川中学校



～成長し信頼される人間になるために「素直な心」と「優しさ」を～

校長 市場 陽一郎

10月29日（土）、多くの保護者、地域の皆様にお出でいただき二学期最大の全校行事「音楽祭」を無事に終了することができました。10月に入り、校庭の金木犀の香りと共に校舎内に響く合唱練習の歌声は日に日に大きくなり、生徒たちの意識は高まって行きました。そして迎えた本番。生徒たちは沢山の感動を届けてくれました。保護者の皆様と来賓の方々からお褒めの言葉や励ましの言葉を頂き感謝しています。またPTA役員、担当委員の皆様、ご協力ありがとうございました。この場を借りて御礼申し上げます。

今年も素直な浅川中生の良さそのままに、舞台から私たちの心に真っ直ぐに伝わる合唱を聴かせてくれました。昼休み合唱団、職員合唱、吹奏楽部の演奏と続き、会場全体の心が一つになり温かな雰囲気になりました。そして、ステージでの感動の波は自然に引き「自律と調和」の心を大切に創りあげた音楽祭は幕を閉じました。閉会式を待つ間のステージ袖では実行委員が口々に「今年は楽しかった。来年もまたやってみたい。」と話していました。まさに、生徒の主体性の育成を目指した今年の音楽祭を象徴する言葉でした。多くの生徒が自ら主体的に活動した時に得られる自信や成長を感じたことでしょう。また、「仲間のために、頑張る」素敵な浅川中生の姿は、本校が目指す「優しさ」そのものであると感じさせてくれました。この素晴らしい音楽祭を経験した子供たちが「共に学ぶ、もっと優しい学校」の生徒として更に成長してくれることを期待しているところです。

11月2日からの二年生の福島移動教室では今年も多くのことを学びました。特に、震災遺構となった請戸小学校では津波という自然災害の恐ろしさを肌で感じてきました。その請戸小学校最後の校長であり、双葉町立なみえ創成中学校の現校長の馬場隆一先生のお話を聴く機会を得ました。なみえ創成中の美しい人工芝の校庭で、「私たちをかわいそうな被災者だとは思わないでほしい。前を向いて頑張っている姿を見てほしい。」と話されました。忘れてはいけない「命を守ることの大切さ」とともに私たちの心に残った言葉でした。お礼の言葉を述べた実行委員の「素直に応援したい！」との言葉がとても嬉しかったと馬場校長先生はメールをくださいました。ここでも浅川中生の素直な良いところが発揮され、誇らしく感じました。

11月は「ふれあい月間」です。いじめ防止を考えるだけでなく、音楽祭や移動教室で学んだ、仲間を認め、高め合える「人としての在り方」についても考えたいものです。私が本校の全ての生徒に心に刻んでほしいのは、「いじめはやるな。」という話ではなく、「もっと優しくなろう。」という前向きな考え方で、心豊かな人間に育ってほしいということです。優しくなろう、人として成長し信頼される人間になろうと行動する人はいじめなどを考えるはずがないと思うからです。クラスで学び合ったり、班で協力したり、行事や部活で励まし合ったりすることは、すべては相手のことを尊重し優しい行動がとれる人間になるためなのです。人間は時に大切なことを忘れて日々の生活を送ることがあります。このふれあい月間を自分を見つめ、大切なことを確認する機会にしてほしいと思います。もしも間違った行動をとったり、相手に嫌な思いをさせてしまったら、素直に「ごめんなさい。」と言えたり、気まずくなった仲間に勇気を出して「おはよう。」「ありがとう。」と言える自分の姿を想像し、実践してほしいです。私たち教職員も生徒たちが明るく、前向きな学校生活を送れるように全力で取り組んでまいります。二学期も残り一ヶ月となりますが、保護者、地域の皆様の変わらぬご支援をお願いいたします。



～ 福島移動教室を終えて ～

移動教室担当 酒井 良樹

11月2日（水）～4日（金）にかけて、第2学年の福島移動教室を行いました。保護者の皆様のご理解とご協力をいただきながら、生徒たちはこの3日間を無事に終え、そして有意義な学びにすることができました。

今回の移動教室にむけて生徒たちが決めたテーマは「忘れない・忘れられない ～生きる力と絆を育む体験～」です。福島から帰ってきた今、第2学年の生徒全員に、今回のテーマは達成できたかを聞いたらどうなるか考えました。おそらくですが、ほとんど全員が達成できたと自信をもって言うと思います。それぐらいこの3日間で、生徒の目の色が変わったと実感しています。

初日の、いわきヘリテージツーリズムでの炭鉱の歴史に始まり、夜のフラダンスショーで福島に来た実感を味わいました。2日目には、浪江町・双葉町に訪れ、なみえ創成中学校の校長先生のお話。なぜグラウンドが人工芝なのか、なぜ学校の周りにあった40本の美しい桜の木が伐採されたのか。そこには風評被害に苦しみながらも前に進んでいる福島の人々がいました。浪江町立請戸小学校にも訪れ、震災当時のまま残った学校を見学しました。あまりにもリアルな被害を目の当たりにして言葉を失いました。この日を振り返った生徒の作文には、「当たり前前の日常が当たり前じゃないと感じた、今日の経験を語り継いでいきたい」と書く生徒が多くいました。夜には震災当時に働いていたハワイアンズ支配人郡司さん・全国キャラバンに参加したフラダンサー猪狩さんにご講話いただき、風評被害に負けずに立ち向かう当時の様子を知ることができました。そして最終日、アクアマリンふくしま。震災で約90%の展示物を失った過去があり、そこから復興に向かう姿を見ました。

このような素晴らしい3日間にできたのは、事前学習や保護者会の際にご講義いただいた原子力安全研究協会の方々、リモートでの授業をしていただいたホープツーリズムの方々、そして送り出していただいた保護者の皆様といった、本当に多くの方々のおかげで過ごすことができました。関わっていただいたすべての方に感謝申し上げます。

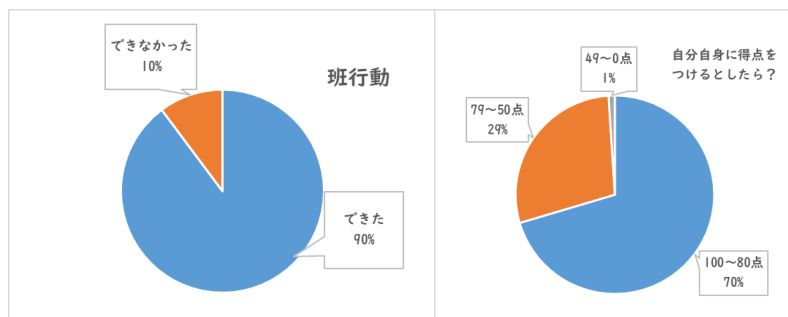
秋晴れの素晴らしい天候に恵まれ、存分に福島の秋を満喫し、多くの学びを体験できました。

生徒たちは4か月後には第3学年という学校の顔になります。そして、1年後には悩み考えて自分の進路を決めていきます。そうした大人への階段を歩むための大きな一歩になった3日間にできたと私は感じました。



なみえ創成小中学校 “復興に向けて前に進む強い意志”

福島移動教室後の生徒アンケート結果



アクアマリンふくしま “復興の象徴の地で学ぶ姿”

閉校式のあいさつ

移動教室実行委員長 C組 生徒

みなさん、三日間お疲れ様でした。今回のスローガンは「忘れない・忘れられない」でしたが、みなさんの心には何が残りましたか。「当事者意識」をどれほどもって学習することができましたか。

私たちは、なみえ創成小中学校の校長先生のお話、産業交流センターでの学習など、三日間で多くの場所を巡り、多くの学習をしました。その中でも私が忘れられないのは、双葉町でのフィールドワークです。私は請戸小学校のはがれた壁、陥落した床、残されたままの瓦礫、そして展示されていた震災前の町の写真を見て、自然の恐ろしさと事前学習で見た震災の写真を甘く見ていた自分を強く感じました。十一年間もの間、誰も戻ることができていないという事実についての重みを肌で感じました。

今回の移動教室のテーマソングの歌詞にある「気づかない幸せだってあるだろう。」という言葉のように、普段私たちが浅川中で生活できていることが幸せであることを改めて気づくことが出来ました。当たり前のことを当たり前と思わずに感謝していきたいと思います。

最後に、私達が三日間で得た正しい知識を語り継ぐために、これからの事後学習に真剣に取り組みしましょう。



まなびの杜あさかわ もり 《 浅川中学校運営協議会の広報ページ 》

第7回 学校運営協議会報告 日時：令和4年11月17日（木）19：00～ 被服室

1. 会長あいさつ

市内の小学校でインフルエンザによる学年閉鎖や学級閉鎖が発生しているようです。気を付けていきましょう。先日の音楽祭は、生徒さんの歌声もピアノの伴奏もすばらしかったです。特に大地讃頌の男子の高音が綺麗で、とても楽しく聴かせていただきました。本日もよろしくお願いします。

2. 各部の報告

- ①評価部 ・12月に学校評価アンケートを実施予定です。地域と学校向けに行います。
- ②支援部 ・ボランティアの方への年賀状を、今年度も美術部に協力していただき作成したい。
・10/28にPTA予算で購入した花を植えました。
・図書ボランティア、Eステップは活動継続中です。
・家庭科ボランティアは、月末より開始します
- ③総務部 ・部活動紹介リーフレットを作成中です。次回には、最終確認をしていただく予定です。
・生徒会役員との懇談会を11/28（月）の16時より予定しています。
- ④漢検担当 ・第2回検定を10/21に実施しました。結果はこれからです。
- ⑤英検担当 ・11/6に2次試験がありました。結果はこれからです。
- ⑥事務局 ・音楽祭での栗山募金は59,991円集まりました。
・防水工事10月中旬から2月中旬までの予定。安全第一で行います。

3. 学校の様子など

①学校長より

- ・修学旅行、音楽祭、福島移動教室ともに、コロナの影響なく行えて良かったと思います。行事の成果を学校生活で活かして欲しいと思います。
- ・今年度入試についてですが、受験の形態が変更されています。
- ・定期考査ではコロナ対応、不登校生徒対応を行い実施します。
- ・11/10に学び合う授業づくりでの研究授業を行いました。学校全体が学び合う授業で、落ち着いています。

②生活指導主任

- ・音楽祭では、3年生は最上級生としてとても立派でした。他の学年もそれぞれ頑張っていました。教員の合唱も楽しんでいただけたようで、良かったです。

③各学年より

- ・1年生 生徒の個性を大切に、指導している中でトラブルがあった時には、保護者、生徒、教員が協力して解決しています。下草刈りでの体験が生徒たちにとって、よい成長の機会になったと思います。音楽祭では協力し合い練習段階から頑張っていました。
- ・2年生 生徒は今まで通り落ち着いた生活を送れています。行事や授業に向かう姿勢がとても前向きで移動教室での被災地学校訪問（なみえ創成中・請戸小学校）でも良い経験が出来たと思います。先日のジョブトークでも、講師の先生から話を聞く姿勢を褒められました。
- ・3年生 大きな行事が終わりこれからは自分たちの進路に向けて動き出します。音楽祭では、最上級生としての姿勢を示すことができました。12月の三者面談では、進学する学校を決めています。12/15には私立高校の入試相談があります。

4. 議 題

- ・学校評価アンケートの自由記述については、記名していただき、任意回答とする（評価アンケートについては従来通り）。アンケートの中にQRコードをつけ、そちらから回答していただく。地域の方には、別紙で回答できる形も残す。
- ・生徒会との懇談会では、アサテン（浅川中展示会）の協力依頼、昨年設置した校庭の灯りについて確認をします。

5. その他

- ・教育委員会 山崎指導主事 より

あいさつエピソードの冊子を読ませていただき、とても温かい取り組みをしていると感じました。学校運営協議会、教員、生徒、それぞれの立場で、それぞれが違う視点で捉えられていて、とても良かったです。

・次回の学校運営協議会 12/8（木）19：00 被服室

学校行事

～ 音楽祭を終えて ～

音楽科 金木 真由美

コロナ禍での音楽祭開催につきまして保護者の方々にはご理解、ご協力頂きありがとうございました。また PTA 役員の皆様には当日の受付、誘導などのご協力、感謝申し上げます。今年度は特別審査委員として木村有紀先生をお迎え審査をして頂きました。「どのクラスもよく声が出ていました。これだけ声が出るのだからもっともっと高めていける、これからが楽しみです」と講評して頂きました。音楽祭に向けてどのクラスも真剣によく取り組み、素晴らしい合唱を会場いっぱいに響かせてくれました。感動をありがとう。

音楽祭 審査結果

最優秀賞 1年生の部 1年B組

課題曲：『 Let's Search For Tomorrow 』

自由曲：『 COSMOS 』

2年生の部 2年A組

課題曲：『 春に 』

自由曲：『 あなたへ 』

3年生の部 3年C組

課題曲：『 大地讃頌 』

自由曲：『 君の隣にいたいから 』



最優秀 伴奏者賞

1年C組 自由曲奏者

2年C組 課題曲奏者

3年A組 自由曲奏者

最優秀 指揮者賞

1年A組 課題曲指揮者

2年B組 自由曲指揮者

3年D組 課題曲指揮者

最優秀 イメージ画賞

1年D組 『 カリブ 夢の旅 』

2年B組 『 心の瞳 』

3年D組 『 ほらね、 』



【最優秀イメージ画賞 作品】



表 彰

中学生の税の作文

東京国税局管内納税貯蓄組合連合会優秀賞

3年D組 女子 『宇宙と未来と税金』

優秀賞 3年C組 女子 『税の作文』

薬物乱用防止 標語部門

佳作 1年A組 男子

『試すだけ 一生後悔 その一回』

佳作 1年C組 女子

『薬物は 全てをうばう 悪魔の手』



浅川地区ポスターコンクール

優秀賞 2年A組 女子

特別賞 2年B組 女子



【浅川地区ポスターコンクール入賞作品】

11・12月の予定

- 11月 23日(祝) 勤労感謝の日
27日(日) 3年 ESAT-J
28日(月) 生徒会朝礼
- 12月 2日(金) 2年 マナー講座
5日(月) 全校朝礼
三者面談(～9日) ⑤カット
6日(火) 保護者会⑤カット
(16時～ オンデマンド配信)
2年 高校説明会(5時間目)
1・2年八王子市学力定着度調査
- 7日(水)～9日(金) ⑤カット
12日(月) ⑥カット
15日(木) 私立入試相談日
19日(月) 生徒会朝礼
22日(木) 大掃除 ⑥カット
23日(金) 終業式 ④⑤カット



問合せ先 浅川中学校職員室

電話：(042) 661-0148

FAX：(042) 667-5408

E-mail askwj@hachioji-school.ed.jp